

NYマーケットレポート(2012 年 4 月 11 日)

NY 市場オープン

21:00

ドル/円 80.89 ユーロ/円 106.28 ユーロ/ドル 1.3139

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	5636.22	+40.67	ダウ INDEX FUTURE	12767	+87
仏 CAC40	3263.84	+46.24	S&P500 FUTURE	1369.00	+10.90
独 DAX	6694.47	+88.04	NASDAQ FUTURE	2717.25	+20.35

(出所：ブルームバーグ)

21 : 00

《 要人発言 》

米アトランタ連銀総裁

- ・「スペイン債スプレッド拡大は懸念材料」
- ・「不胎化した量的緩和は選択肢の1つ」

21 : 15

《 経済指標結果 》

3 月カナダ住宅着工件数 21.56 万件（予想 20.00 万件・前回 20.53 万件）

前回発表の 20.11 万件から 20.53 万件に修正



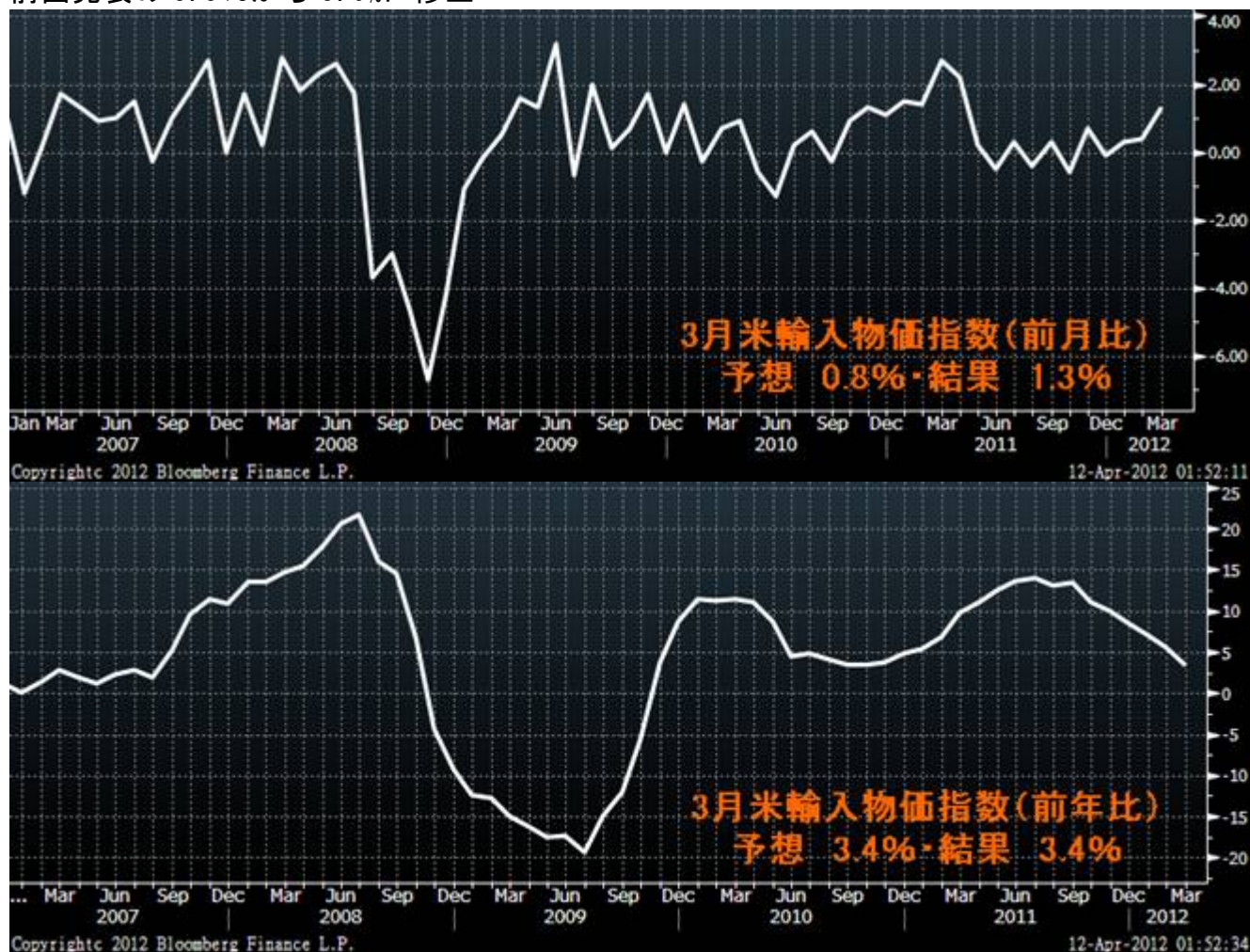
(出所：ブルームバーグ)

21 : 30

《 経済指標結果 》

3 月米輸入物価指数（前月比） 1.3%（予想 0.8%・前回 -0.1%）
 前回発表の 0.4%から-0.1%に修正

3 月米輸入物価指数（前年比） 3.4%（予想 3.4%・前回 5.0%）
 前回発表の 5.5%から 5.0%に修正



（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

《米輸出入物価》

	3 月	2 月	1 月	12 月	11 月	10 月	前年比
全輸入	1.3	-0.1	0.0	0.0	0.7	-0.5	3.4
石油	4.3	0.4	0.0	0.3	3.5	-1.1	9.6
食品・飲料等	1.8	-2.8	2.2	-0.5	-0.2	-0.7	-0.3
資本財	0.2	0.0	0.3	0.3	0.1	-0.3	1.1
自動車・部品	0.3	0.0	0.4	-0.3	0.1	0.0	3.0
消費財	0.0	0.0	-0.2	0.3	1.0	0.7	0.8

	3月	2月	1月	12月	11月	10月	前年比
全輸出	0.8	0.4	0.2	-0.5	0.1	-2.1	0.9
農業	2.7	-0.6	1.0	-2.3	1.7	-6.5	-5.5
食品・飲料等	2.9	-0.6	1.2	-2.0	2.1	-7.0	-0.5
資本財	0.2	0.2	0.4	0.1	-0.1	0.0	1.3
自動車・部品	0.2	0.3	0.1	-0.1	0.1	0.2	2.6
消費財	0.3	0.1	0.2	-0.1	-0.2	-0.5	2.9

【輸入物価指数】

輸入時の価格を指数化したものであり、特に、他の物価関連の指標と同様に国内のインフレ動向の先行指標の一つとして注目される経済指標。ただ、輸入時ということで、原油相場や為替相場の影響を受ける傾向にある。

22 : 00

《 経済指標結果 》

2月メキシコ貿易収支 45億8400万MXN（前回 44億1700万MXN）

2月メキシコ鉱工業生産（前月比） -1.7%（予想 0.5%・前回 1.3%）
 前回発表の0.8%から1.3%に修正

22 : 30

《 要人発言 》

パパディモス首相が閣僚らに伝えた

- ・「ギリシャ総選挙は5月6日に実施」
- ・「ギリシャ議会は5月17日に再招集」
- ・「ギリシャ新議会は2013-2016年の中期計画について6月に採決する」

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	12827.95	+112.02
S&P500	1371.51	+12.92
ナスダック	3017.87	+26.65

（出所：ブルームバーグ）

《 経済指標のポイント 》

3月の米輸入物価指数は、前月比+1.3%となり、伸び率が昨年4月以来11ヵ月ぶりの大きさとなった。また、前年同月比では+3.4%と2009年11月以来の小幅な伸びにとどまった。石油を中心とした燃料価格の上昇が指数全体を押し上げる結果となった。

- ①石油は、前月比で+4.3%で昨年4月以来の大幅な上昇となり、前年同月比では+9.6%となった。石油以外の品目は、前月比で+0.3%、前年同月比で+1.4%だった。
- ②前月比の品目別の動向は、原油が+3.5%、天然ガスは-14.2%と2010年3月以来の大きな落ち込み、食料品は+1.8%となった。
- ③国・地域別にみると、メキシコを含む中南米が+1.3%、カナダが+1.2%、EUが+0.9%。日本と中国は横ばいだった。
- ④輸出物価は、前月比+0.8%と昨年4月以来の伸び率となった。農産物は+2.7%と昨年2月以来の高い伸びを示し、農産物以外の品目は+0.5%となった。

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、前日の引後に発表された、米アルミ大手アルコアの1-3月期決算が市場予想を上回ったことから、主要株価は堅調な展開となった。また、スペインやイタリアの国債利回りの上昇が落ち着いたことから、割安感の出た銘柄を買い戻す動きが膨らんだ。ダウ平均株価は、一時前日比で126ドル高まで上昇している。

23 : 35

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・279万バレル増加
ガソリン在庫・・・428万バレル減少
留出油在庫・・・400万バレル減少

0 : 05

FRBは、ニューヨーク連邦準備銀行を通じた公開市場操作により、86.24億ドルの米短期国債の売却を実施した。

《ここまでの欧州のポイント》

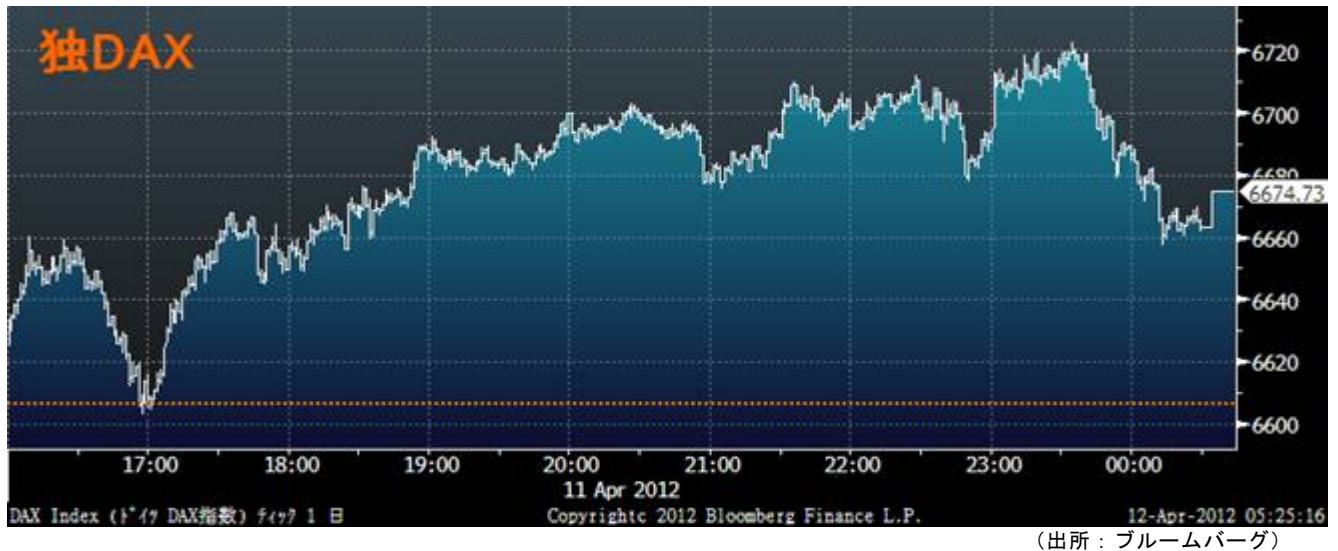
- ①スペイン財務相は、スペイン国債とドイツ国債の利回り格差に関して「400bp を超えるスプレッドは明らかに、公的部門と民間の資金調達にとって問題だ」と述べ、現在のスプレッドはスペインの資金調達にとって問題になるとの認識を示した。
- ②欧州債市場では、ドイツの 2022 年 1 月償還債が下げ幅を拡大した。10 年債の新たな指標となる入札で応札額が目標上限に達しなかったことが要因となった。応札額は 41 億 1000 万ユーロ（約 4370 億円）、平均落札利回りは過去最低の 1.77% となった。発行目標の上限は 50 億ユーロだった。これを受けて、2022 年 1 月償還債の利回りは、前日比 6bp 上昇し 1.71%。2 年債利回りは 4bp 上げ 0.13% となった。
- ③イタリア経済発展相は、欧州が「再び困難な時期」に入っているとの認識を示す一方、イタリアは昨年 11 月よりも市場の混乱に耐える準備ができていると語った。「欧州は困難な時期を再び経験しているが、幸いにもイタリアは数カ月前より準備が整っている」と述べた。その上で、「成長を支えることのできるあらゆることを加速させる ことが必要なのは明白だ」と続けた。
- ④ギリシャのパパディモス首相は、この日午後、パプリアス大統領と会談した後に国会の解散を発表する。国営通信によると、総選挙の投開票日は 5 月 6 日の見通しであり、EU などの監視の下で、大連立を組んで財政再建を進める既成の 2 大政党への国民の不満は根強く、選挙結果によっては債務危機が再燃しかねない。
- ⑤ギリシャでは長年、中道左派・全ギリシャ社会主義運動（PASOK）と中道右派・新民主主義党（ND）の 2 大政党が政権を奪い合ってきた。だが債務危機が深刻化した昨年 11 月、独仏両国などから圧力を受けて両党が大連立。元中央銀行総裁のパパディモス氏を首相に担いで財政再建を進めていた。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	5634.74	+39.19
仏 CAC40	3237.69	+20.09
独 DAX	6674.73	+68.30
ストック欧州 600 指数	254.43	+1.86
ユーロファースト 300 指数	1033.80	+7.65
スペイン IBEX35 指数	7576.70	+143.10
イタリア FTSE MIB 指数	14689.84	+230.96
南ア アフリカ全株指数	33632.76	+15.02

（出所：ブルームバーグ）

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、スペインやイタリアの国債利回り上昇が一段落したことから、値頃感の出た銘柄に買いが入り、主要株価は反発となった。金融関連が上昇となったものの利益率見積もりが下方修正された通信機器のノキアが売られるなど、通信関連が売られた。



1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 12800.36 (+84.43)、S&P500 1369.23 (+10.64)、ナスダック 3019.74 (+28.52)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

米債券市場は、前日に上昇した反動で利益確定売りが先行した。また、スペインやイタリアの国債利回り低下でユーロ圏の債務問題に対する懸念がやや後退したことや株価が上昇したことも相場を圧迫した。

午前の 30 年債利回りは 3.18% (前日 3.13%)、10 年債 2.03% (1.99%)、7 年債 1.41% (1.36%)、5 年債 0.88% (0.85%)、3 年債 0.43% (0.41%)、2 年債 0.30% (0.29%)。

2 : 00

《米財務省 10 年債入札》

最高落札利回り・・・2.043% (前回 2.076%)
 最低応札利回り・・・1.800% (前回 1.950%)
 最高利回り落札比率・・・75.67% (前回 26.58%)
 応札倍率・・・3.08 倍 (前回 3.24 倍)

米 10 年物国債入札は、落札利回りが 2.043% となり、直前の発行日取引利回りの 2.044% を下回った。また、応札倍率は 3.08 倍 (前回 3.24 倍)、間接入札者比率は 38.5% (前回 38.6%) となった。

3 : 00

《 経済指標結果 》

3 月米財政収支 1982 億 USD（予想 -1960 億 USD・前回 -1882 億 USD）

3 : 00

《 ベージュブック（地区連銀経済報告） 》

- ・「経済活動は緩やかないし穏やかなペースで拡大」
- ・「製造業は自動車・ハイテク部門を中心に拡大続く」
- ・「製造業者は石油価格の上昇を懸念」

- ・「雇用は多くの地区で緩やかに拡大」
- ・「小売業は気温上昇を反映して好調」
- ・「ガソリン高騰による家計の選択的消費に懸念も」

ベージュブック（地区連銀経済報告）は、「引き続き緩慢から緩やかなペースで拡大した」として、ほぼ前回と同様に見方を示した。ただ、「緩やかなペース」の地区が増えたとしており、景気認識をやや上方修正している。

①経済活動の拡大状況に関して、ボストン、アトランタ、シカゴ、ダラスと サンフランシスコの 5 地区が「緩やかなペースで」成長、クリーブランドとセントルイスは「緩慢な成長」との見方を示した。一方、ニューヨークでは「やや上向いた」とし、フィラデルフィアとリッチモンドは「事業環境が改善」しているとした。また、ミネアポリスは「堅調なペースで成長」し、カンザスシティでは「より速いペースで拡大」とした。

②雇用情勢は「多くの地区で安定的かまたは小幅に伸びた」と改善方向に修正されたものの、熟練技術者の雇用に関しては困難がしばしば報告されたとしている。

3 : 20

NY 金は、中心限月が前日比 0.40 ドル安の 1 オンス＝1660.30 ドルで取引を終了した。

4 : 10

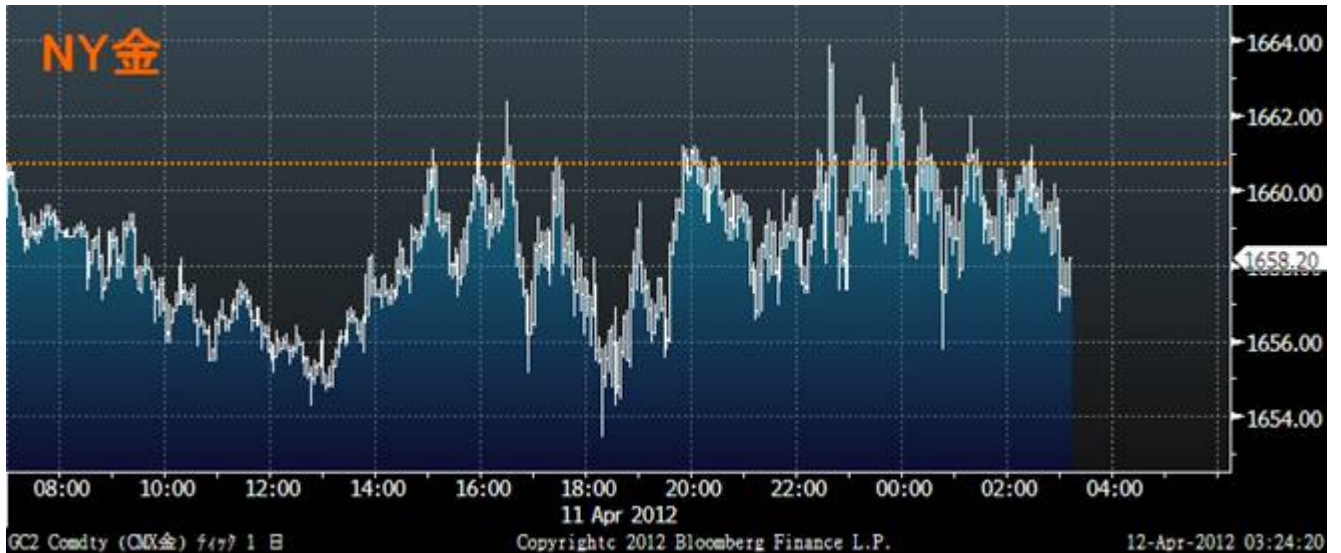
NY 原油は、中心限月が前日比 1.68 ドル高の 1 バレル＝102.70 ドルで取引を終了した。

コモディティー	終 値	前日比
NY GOLD	1660.30	-0.40
NY 原油	102.70	+1.68

（出所：ブルームバーグ）

《 NY 金市場 》

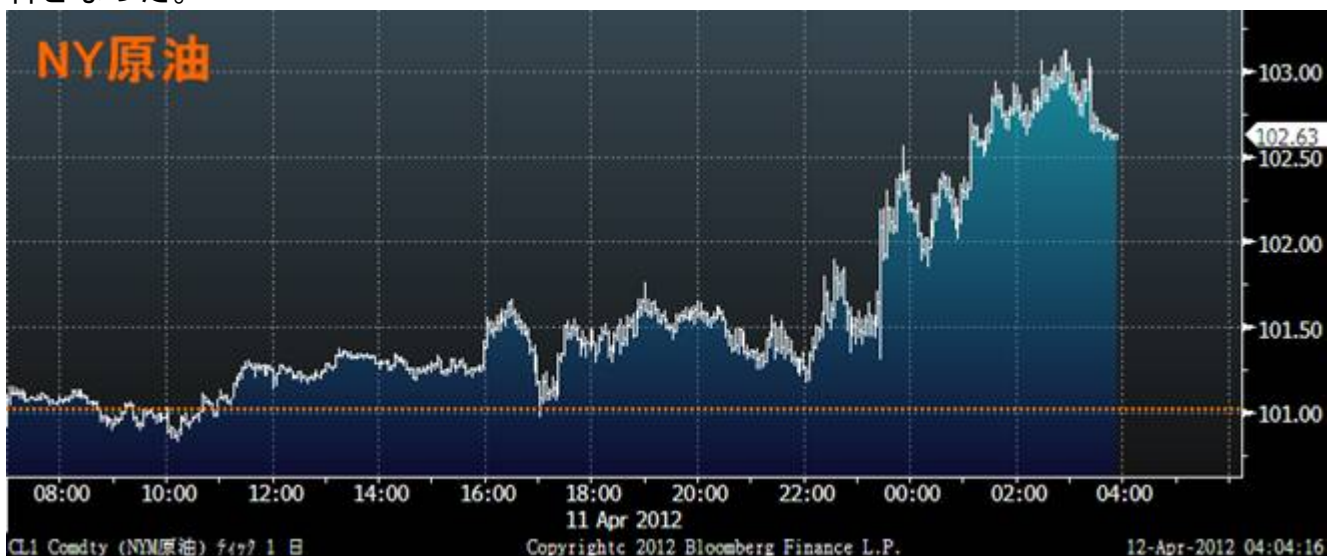
NY金は、スペインやイタリアの国債利回りが低下したことで、ユーロ圏の債務問題への懸念がやや弱まったとの見方から、投資資金を金に避難させる動きが後退した。ただ、ドルがユーロ などに対して下落したことから、金を買う動きも出て、やや方向感に欠ける動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米週間石油統計でガソリン在庫が市場の予想を大きく上回る減少となったことから、エネルギー需要は堅調との見方が広がり、買いが先行した。また、ドルがユーロなどに対して下落したことから、ドル建ての原油価格の割安感が出たことも支援材料となった。



(出所：ブルームバーグ)

米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	12805.39	+89.46	12844.82	12716.92
S&P500 種	1368.71	+10.12	1374.71	1358.98
ナスダック	3016.46	+25.24	3030.51	3008.75

(出所：ブルームバーグ)

《米株式市場》

米株式市場は、前日の引後に発表された、米アルミ大手アルコアの1-3月期決算が市場予想を上回ったことから、主要株価は堅調な展開となった。また、スペインやイタリアの国債利回りの上昇が落ち着いたことから、割安感の出た銘柄を買い戻す動きも膨らんだ。ダウ平均株価は、堅調な展開で始まり、序盤に一時前日比で128ドル高まで上昇するなど、堅調な展開が続いた。



(出所：ブルームバーグ)

	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	80.88	81.13	80.79
EUR/JPY	105.99	106.69	105.90
GBP/JPY	128.63	129.18	128.40
AUD/JPY	83.30	83.79	83.23
NZD/JPY	66.08	66.66	66.05
EUR/USD	1.3108	1.3154	1.3096
AUD/USD	1.0297	1.0332	1.0291

(出所：ブルームバーグ)

《外国為替相場》

外国為替市場は、全般的にやや小動きの展開で始まったが、日銀の追加緩和を発表するのみ見方が広がったことから、円が主要通貨に対して売られた。しかし、その後は、短期筋の利益確定の動きから円を買い戻す動きが優勢となり、午後には円が主要通貨に対して上昇するなど、やや方向感にかける動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。